

イギス科

エゴノリ

Campylaephora hypnaeoides J.Agardh

兵庫県ランク… LE
環境省ランク… —

■ 県内分布

日本海側、瀬戸内海その他海域にはふつうにみられる。

■ 国内分布

北海道、本州、四国、九州

■ 選定理由

人為性		特殊性		学術性	
生育環境破壊		特殊生育環境		特殊な分布	
観賞用等採取		特異な生態		分布の限界	
				希少	○

■ 特記事項

瀬戸内海域全体では比較的普通にみられるが、この海域では希産。

■ 保護上の留意点

—

■ 種の概要

体は他の海藻の上に着生し、直径2-2.5mmの仮根系からなる円錐状の付着器から発達し、高さ20cmまたはそれ以上になり、はじめ直立して、後に鉤状の枝によって絡み合い大きな塊になる。分枝は規則的な叉状様で各方向に生ずる。枝は広開し、側生の小枝を持ち、小枝は古くなると脱落する。枝の先端は内側に曲がって鉗子状となる。枝は厚い皮層を持ち、直径約1mmあり、中軸細胞とふつう7本の周心細胞、内皮層、仮根様細胞系と小形の外皮層細胞からなる。枝の末端部の片側が肥大して鉤状になるものも。質は若い体では膜質で、乾燥するとき紙に付着するが、古くなると軟骨質になって紙に付着しない。